

平成 30 年度

# 事業報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

# 平成 30 年度 事業報告書

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

本年度の平成 31 年 3 月 31 日現在における事業実施状況は、次のとおりである。

## 1. 会 員

平成 31 年 3 月 31 日現在の会員数は次のとおりである。

会員数	23 会員
・ 地区乗馬倶楽部振興会	20 会員
・ 目的賛同団体	3 団体

## 2. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者等登録事業

乗馬施設等登録規程に基づく登録は次のとおりであり、乗馬施設の登録は前年との差異が 1 乗馬施設の増加(5 乗馬施設増、4 乗馬施設減)、乗用馬登録は前年との差異が 19 頭の減少、乗馬指導者は前年との差異が 10 名の増加であった。

乗馬施設	274 乗馬施設 【別表 1】
乗用馬	5,127 頭 (平成 30 年 4 月末時点の登録数)
乗馬指導者	1,911 名(上級 B 135・W10 名、中級 B 254・W25 名、初級 B 1,416・W71 名)

【別表 1】 平成 30 年度 登録乗馬施設数の推移

	地 区	各地区乗馬倶楽部振興会 都道府県別登録乗馬施設数	平成 30 年度				平成 29 年度
			乗馬施設数	入会	退会	(うち休会)	
1.	北海道	北海道 21	21				21
2.	東 北	青森 3 岩手 2 山形 0 宮城 3 秋田 1 福島 2	11		1		12
3.	北関東	栃木 9 茨城 15 群馬 4	28	1			27
4.	埼 玉	埼玉 12	12				12
5.	千 葉	千葉 28	28				28
6.	東 京	東京 5	5				5
7.	神奈川	神奈川 20	20				20
8.	北 陸	新潟 2 富山 1(1)石川 2 福井 2	7			(1)	7
9.	長 野	長野 10	10				10
10.	山 梨	山梨 9	9	1	2		10
11.	静 岡	静岡 17	17				17
12.	東 海	愛知 10 岐阜 3	13				13
13.	東近畿	三重 7 奈良 5	12				12
14.	京 阪	滋賀 5 京都 6 大阪 7 和歌山 1	19	1	1		19
15.	兵 庫	兵庫 8	8	1			7
16.	中 国	岡山 5 広島 9 鳥取 1 島根 1 山口 4	20	1			19
17.	四 国	香川 2 愛媛 2 高知 2 徳島 1	7				7
18.	北部九州	福岡 10(2)佐賀 1	11			(2)	11
19.	中九州	大分 4 熊本 5 長崎 1	10				10
20.	南九州	宮崎 1 鹿児島 3 沖縄 2	6				6
	合 計		274	5	4	(3)	273

### 【新規登録乗馬クラブ】5件

よつば乗馬クラブ	(北関東地区 : 茨城県)
(株)ホースブリッジ	(山梨地区 : 山梨県)
ハーモニーファーム野のはな	(京阪地区 : 大阪府)
(株)クラフト	(兵庫地区 : 兵庫県)
ホースパーク小月	(中国地区 : 山口県)

### 【退会乗馬クラブ】4件

湯の町乗馬クラブ	(東北地区 : 山形県)
ホースクラブディンプル	(山梨地区 : 山梨県)
八ヶ岳ウエスタン牧場	(山梨地区 : 山梨県)
ラ・グレース乗馬倶楽部	(京阪地区 : 和歌山県)

### 【休会乗馬クラブ】3件

富山乗馬クラブ [1年目]	(北陸地区 : 富山県)
マーキュリーRC [2年目]	(北部九州地区 : 福岡県)
むなかた乗馬クラブ [1年目]	(北部九州地区 : 福岡県)

## 3. 諸会議等

平成30年度に開催した主な会議等は、次のとおりである。

#### 《総会の開催》

定時社員総会

6月19日

議題

1. 平成29年度事業報告について
2. 平成29年度会計決算報告について
3. 理事及び監事の選任について

臨時社員総会

理事が提案した事項に社員全員が同意したみなし社員  
総会決議

- ・社員総会の決議があったものとみなされた日

12月4日

- ・社員総会の決議があったものとみなされた内容

議題

1. 後任監事の選任について

#### 《理事会の開催》

第1回理事会

5月29日

議題

1. 平成30年度定時社員総会に付議する議案について
2. 平成30年度定時社員総会の開催について

第2回理事会

6月19日

議題

1. 代表理事及び業務執行理事の選定について

### 第 3 回理事会

理事が提案した事項に理事会が同意したみなし理事会  
決議

・理事会の決議があったものとみなされた日

11 月 20 日

・理事会の決議があったものとみなされた内容

議題

1. 臨時社員総会の開催について
2. 後任監事候補者の選任について

### 第 4 回理事会

平成 31 年 2 月 18 日

議題

1. 平成 31 年度事業計画・収支予算について
2. 常勤役員の報酬月額を増減額について
3. 諸規程の改正について
4. 賛助会員の入会について

《その他の会議等の開催》

常務理事会

5 月 29 日、6 月 19 日、平成 31 年 2 月 18 日

地区会長会議

平成 31 年 2 月 18 日・19 日

## 4. 人事関係

平成 30 年度における役員等の異動は、次のとおりであった。

選 任 監 事	吉田 啓二	( 6 月 19 日)
〃 監 事	杉本 修	(12 月 4 日)
退 任 監 事	原口 吉正	( 6 月 19 日)
〃 監 事	吉田 啓二	(12 月 4 日)

## 5. 乗馬普及事業

広く一般市民に乗馬普及を図るため下記事業を行った。

### (1) 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業

日本中央競馬会（以下「JRA」という。）からの助成を受け、地域の児童から高齢者に至るまでを対象に、行政機関や教育機関、地域社会等と連携し一般市民が馬とふれあう機会を増加させ、馬の持つ魅力を広く伝えるとともに地域振興等に有意義であると認められる事業を主催もしくは協力した乗馬施設に対して補助金を交付しており、事業の実施件数は 67 件であった。

なお、大衆と馬とのふれあいタイム事業推進委員会を 6 月 13 日ならびに平成 31 年 3 月 4 日に開催した。

### (2) 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業

JRA からの助成を受け、被災した地域の住民と馬とのふれあい活動を行うことにより、被災地の子供及び家族に明るく元気になってもらい、心身の健全な発展に寄与する事業を実施した。実施件数は現地訪問型 62 件、乗馬施設招致型 40 件、都市部開催型 1 件であった。

なお、被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業推進委員会を 6 月 13 日ならびに 12 月 12 日に開催した。

(3) 乗馬技能認定事業

① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の乗馬技術の向上意欲を図り、また効率的で安全な指導を行うため乗馬技能認定を行い、合格者に認定証を交付した。

なお、申請者数は 10,296 名、合格者 10,000 名であり、審査回数は 1,582 回、技能認定審査実施乗馬施設数は 156 施設であった。 【別表 2】

【別表 2】 平成 30 年度 乗馬技能認定結果 (単位：名)

年 度	30 年度	29 年度	前年度比	
審査回数	1,582	1,577	100.3%	
乗馬クラブ数	156	163	95.7%	
5 級	申請者数	5,165	5,624	91.8%
	合格者数・合格率	5,163 99.9%	5,620 99.9%	91.9%
ウエスタン 5 級	申請者数	45	44	102.3%
	合格者数・合格率	45 100%	44 100%	102.3%
4 級	申請者数	2,544	2,579	98.6%
	合格者数・合格率	2,535 99.6%	2,559 99.2%	99.1%
ウエスタン 4 級	申請者数	35	35	100.0%
	合格者数・合格率	34 97.1%	32 91.4%	106.3%
3 級	申請者数	1,379	1,430	96.4%
	合格者数・合格率	1,219 88.4%	1,270 88.8%	96.0%
ウエスタン 3 級	申請者数	27	13	207.7%
	合格者数・合格率	21 77.8%	10 76.9%	210.0%
エンデュランス 3 級	申請者数	24	32	75.0%
	合格者数・合格率	22 91.7%	32 100.0%	68.8%
3 級障害	申請者数	230	269	85.5%
	合格者数・合格率	224 97.4%	256 95.2%	87.5%
2 級障害	申請者数	125	123	101.6%
	合格者数・合格率	111 88.8%	115 93.5%	96.5%
2 級馬場	申請者数	551	575	95.8%
	合格者数・合格率	470 85.3%	479 83.3%	98.1%
ウエスタン 2 級	申請者数	7	0	—
	合格者数・合格率	7 100%	0 —	—
エンデュランス 2 級	申請者数	14	27	51.9%
	合格者数・合格率	12 85.7%	22 81.5%	54.5%
1 級障害	申請者数	8	9	88.9%
	合格者数・合格率	7 87.5%	6 66.7%	116.7%
1 級馬場	申請者数	140	142	98.6%
	合格者数・合格率	128 91.4%	114 80.3%	112.3%
ウエスタン 1 級	申請者数	1	0	—
	合格者数・合格率	1 100%	0 —	—
エンデュランス 1 級	申請者数	1	0	—
	合格者数・合格率	1 100%	0 —	—
合 計	申請者数	10,296	10,902	94.4%
	合格者数・合格率	10,000 97.1%	10,559 96.9%	94.7%

なお、技能認定1・2級合格者のうち、(公社)日本馬術連盟の定める騎乗者資格B級への移行措置者は200名であった。 【別表3】

【別表3】 平成30年度 日本馬術連盟騎乗者資格 B級移行者数 (単位：名)

技能 認定	障害		馬場		エンデュランス		合計
	1級	2級	1級	2級	1級	2級	
人数	1	97	8	81	0	13	200
	98		89		13		
移行先	B級		B級馬場馬術限定		B級エンデュランス限定		

② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として、乗馬技術の向上と馬との親和を図るためポニーを使った技能認定を行い、合格者に認定バッジを交付した。認定登録者数は327名であった。 【別表4】

【別表4】 平成30年度 ポニーライダー登録者数 (単位：名)

級 / 年度	30年度	29年度	前年度比
5級	160	201	79.6%
4級	75	78	96.2%
3級	50	68	73.5%
2級	26	24	108.3%
1級	16	23	69.6%
合計	327	394	83.0%

(4) 普及乗馬大会

① 全国普及乗馬大会

一般市民を対象として、乗馬技術の向上と相互交流を図るため、6月15日～17日の3日間、御殿場市馬術・スポーツセンターで開催した。

② 地区普及乗馬大会

一般市民を対象にした各地区の乗馬大会を共催し、17地区振興会、1団体会員で開催した。なお、1地区(東近畿地区)は会場が三重国体に向けた工事のため事前に辞退。2地区(長野地区・東海地区)は、会場及び開催期間の関係で中止となった。

(5) 乗用馬取扱講習会事業

一般市民を対象として乗用馬の生態、飼育等の講習会を開催して、乗馬の普及を目的とした講習会を9月9日に愛媛県今治市(のまうまハイランド)で実施予定であったが、台風接近のため中止となった。

## (6) 乗馬普及広報事業

乗馬の健全な普及を図るため、乗馬に関する情報等をホームページに掲載し、広く乗馬の魅力を発信する他、様々なイベントを利用して広報に努め、地区乗馬倶楽部振興会等で実施する試乗会や普及乗馬大会等を地区乗馬倶楽部振興会のホームページやマスコミにも積極的に広報するよう依頼した。

また、本年度はホームページのリニューアルを行い、より親しみやすく使いやすいホームページとし、英語サイトを新たに設けることでより幅の広い情報発信に努めた。

さらに本協会の活動内容を広く周知する為、本協会のロゴ・名前等を記入したノベルティの作成・配布を行った。

## 6. 乗馬施設関係事業

### (1) 乗馬施設再貸付事業

乗馬施設等が乗馬普及に必要な動産の整備を行うにあたり、申請書に基づき審査の上、(公財)畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受け、乗馬施設等に再貸付を行った。

8 乗馬施設へ 9 件、取得価額総額 57,418,200 円の乗馬施設再貸付を実施した。【別表 5】

【別表 5】 平成 30 年度 (公財) 畜産近代化リース協会関係 事業実施状況 (新規)

乗馬クラブ名	機械施設名	数量	取得価格 (円)	契 約 日 (上段) 貸付開始日 (下段)
藤沢乗馬クラブ	トレーニングマシン	1	8,424,000	4月 1日 4月 1日
アバロン・ヒルサイドファーム	厨房設備	1	2,066,040	4月 17日 4月 1日
藤沢乗馬クラブ	馬積載箱	1	15,074,640	5月 22日 7月 1日
一般財団法人明石乗馬協会	簡易式厩舎	1	3,402,000	6月 12日 7月 1日
蒜山ホースパーク	馬房マット	1	2,779,920	7月 17日 8月 1日
甲賀乗馬クラブ	トラック・ 馬積載箱	2	15,731,280	8月 1日 12月 1日
ライディングクラブ フジファーム	ワゴン車	1	5,550,120	11月 7日 平成 31 年 1 月 1 日
カナディアンキャンプ 乗馬クラブ	ホイールローダー	1	4,390,200	平成 31 年 2 月 19 日 平成 31 年 3 月 1 日
合 計	8 施設	9 件	57,418,200	

### (2) 乗馬施設費利子補給事業

乗馬施設等が借入金で新規に乗馬施設の整備を行う場合、申請書に基づき書類審査及び現地確認を行い、適正であった案件を利子補給対象としている。

なお、平成 20 年度から新規の応募は受け付けていない。

### (3) 優良乗馬施設認定事業

利用者の安全や周辺環境等に配慮した優良乗馬施設を認定するため、申請に基づき現地調査及び優良乗馬施設認定審査委員会の審査を経て乗馬施設を新規に認定すると共に、更新申請がある乗馬施設を認定するため、平成31年3月19日にJRA新橋分館5Fで優良乗馬施設認定審査委員会を開催した。現在168乗馬施設が認定されている。

## 7. 乗用馬整備関係事業

### (1) 乗用馬防疫推進事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて、下記の事業を行った。

事業内容については、軽種馬防疫協議会が推奨する要領により、馬インフルエンザ、日本脳炎及び破傷風の予防ワクチンを所定のワクチンプログラムに基づいて接種した馬を対象に実馬確認検査を行い、合格馬4,773頭に対し予防接種費の補助金を交付した。

登録乗用馬における馬インフルエンザ、日本脳炎および破傷風等の伝染性疾病に対する防疫体制の確立のため、平成31年2月8日、JRA新橋分館5Fにおいて第1回「乗用馬防疫推進委員会」を開催した。また平成31年3月8日、JRA新橋分館5Fにおいて第2回「乗用馬防疫推進委員会」を開催し、自己評価結果の検証を行った。

### (2) 乗馬活動保険推進事業

JRAからの助成を受け、乗馬活動中に発生する様々なトラブルから問題を回避するため、乗馬クラブが加入する傷害・賠償保険金額(年間)に対し、実馬確認検査に合格した4,773頭に於じて補助金を交付した。

### (3) 在来馬乗用化推進事業

在来馬を乗用馬として安全に活用するため、公設動物園、在来馬保存会、在来馬飼育者等を対象とした馴致・調教の講習会を行った。また、講習会に合わせて地域の障がい者や子どもを対象とした体験乗馬会ならびに地域住民を対象とした講演会を行った。

#### ・現地講習会

会 場：目保呂ダム馬事公園(長崎県対馬市)

日 程：6月7日～10日

対州馬の飼養管理者を対象に躰と基礎調教を指導

地域の障がい者・子どもを対象とした体験乗馬会の実施

地域住民を対象とした講演会を実施

参加者：73名(講習会：3名・体験乗馬会：騎乗者34名参加者12名・講演会：24名)

#### ・集合講習会

会 場：のまうまハイランド(愛媛県今治市)

日 程：9月5日～8日

野間馬の飼養管理者を対象に飼育管理、馴致調教に関する集合講習会及び

「第19回ちびっこ・のまうま祭り」におけるイベント運営指導

参加者：14名



(4) 馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進事業

(公財)全国競馬・畜産振興会からの助成を受けて下記の事業を行った。

① 事業推進委員会開催事業

馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進委員会を6月26日にJRA新橋分館5F小会議室で開催した。

② 馬の流通に係る若手後継者の育成調教技術向上推進事業

馬産地においてこれまで講習を行った人材の中から優れた人材を活用して、各地域の生産団体によって選抜された若馬に対し乗用馬として付加価値を向上させ市場に送り出すための馴致調教を行うことと併せて、若手後継者が若馬の育成調教技術の習得に取り組んだ。

また、各地域において事業の進捗状況の確認と、正しい調教技術を普及伝達するために、事業期間中に本協会有資格者指導者を派遣して現地指導を行った。

遠野地域：10月24日～30日 参加者：3名

十勝地域：6月27日～7月1日 参加者：6名

根釧地域：10月6日～9日 参加者：5名

(5) 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業

1) 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業

JRAの助成を受け、全国各地において実施されている馬を活用した活動において、安全に馬を取り扱える人材の養成等のため、障がい者・ホースセラピー、観光・地域振興、子ども・教育に関する講習会等を開催した。

・講習会の開催

① 「馬との接し方教室～馬と楽しくふれあうために～」

会場：帯広競馬場（北海道帯広市）

日程：7月28日

参加者：30名

② 「馬と教育活動」

会場：宮ノ丘幼稚園（北海道札幌市）

日程：8月2日

参加者：15名

③ 「馬は理想のセラピスト～乗馬教育ってなあに？～」

会場：ACU・Y読売北海道ビル（北海道札幌市）

日程：8月3日

参加者：55名

- ④ 「スポーツ流鏝馬による地域興しに関するワークショップ」  
「流鏝馬クリニック」  
会 場：十和田市民文化センター、十和田乗馬倶楽部（青森県十和田市）  
日 程：9月1日～2日  
参 加 者：ワークショップ 18名  
流鏝馬クリニック 延べ61名
- ⑤ 「第2回馬の多様な利活用を推進するための講習会」  
会 場：栗島浦村役場公民館、あわしま牧場（新潟県岩船郡栗島浦村）  
日 程：9月22日～23日  
参 加 者：延べ138名
- ⑥ 「障がい者・高齢者乗馬体験会」  
「障がい者が馬を楽しむ為の講習会」  
会 場：JRA馬事公苑 宇都宮事業所（栃木県宇都宮市）  
日 程：9月28日～30日  
参 加 者：乗馬体験会 11名  
講習会 延べ51名
- ⑦ 「療育活動に関するホースセラピーの基礎知識～ホース DE リハ～」  
会 場：岡山乗馬倶楽部（岡山県吉備中央町）  
日 程：10月13日～14日  
参 加 者：延べ35名
- ⑧ 「馬介在メンタルヘルス研修会 2018」  
会 場：I&I LAND（大阪府四條畷市）  
日 程：11月17日  
参 加 者：61名
- ⑨ 「ホースセラピーの基礎知識養成講習会」  
会 場：沖縄アミークスインターナショナル（沖縄県うるま市）  
琉球リハビリテーション学院（沖縄県国頭郡金武町）  
日 程：12月16日  
参 加 者：35名

・事業推進委員会の開催

（第1回：平成30年3月23日）第2回：9月14日、第3回：12月21日

2) 障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業

JRAの助成を受け、広く国内に障がい者乗馬・ホースセラピー活動を普及する為、安全性を始めとする馬の取り扱いや適切な対応がとれるよう、海外より講師を招いての講習会を下記の通り開催した。

また、事業を円滑に運営するための事業推進委員会、ならびにホースセラピー活動を普及するため、ワーキンググループによるガイドブック作成を行った。

・講習会の開催

「海外より講師を招聘しての障がい者乗馬・ホースセラピー講習会」

講 師：コリンナ・ワグナー、ペトラ・ホッフマン

会 場：ほくせい乗馬クラブ（北海道地区：北海道）

恵光園ヒポクラブ（九州地区：福岡県）

神戸乗馬倶楽部（西日本地区：兵庫県）

那須野ヶ原ファーム・那須スポーツパーク（東日本地区：栃木県）

日 程：11月 8日～ 9日（北海道地区）

11月 10日～11日（九州地区）

11月 14日～15日（西日本地区）

11月 17日～18日（東日本地区）

参 加 者：124名（北海道：15名・九州：15名・西日本：62名・東日本：32名）

・事業推進委員会

（第1回：平成30年3月23日）第2回：8月31日、第3回：12月20日

・ワーキンググループによるガイドブック作成作業

（第1回：平成30年2月8日）第2回：7月5日、第3回：11月28日、

平成31年度第1回：平成31年2月28日

3) 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業

JRAの助成を受け、乗馬クラブ等で引退競走馬がより受け入れられるよう、転用促進等を活発化させるための環境づくりや方向性について検討し、事業を円滑に運営するための事業推進委員会等を開催した。

国内外より講師を招いての引退競走馬の更なる乗馬や馬術における活用と転用促進を目的とした講習会を開催した。

また、引退競走馬をより一層、乗馬や馬術で活用させるために、全国5会場で引退競走馬のみの競技種目に対して引退競走馬所有者奨励金を授与した。

・講習会の開催

「引退競走馬でリオデジャネイロオリンピック総合馬術競技に出場したボイド・マーティン氏の講習会」

① 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）

日 程：11月26日～28日

参 加 者：35名（受講者：14名・聴講者：21名）

② 会 場：福岡県馬術競技場（福岡県古賀市）

日 程：11月30日～12月2日

参 加 者：56名（受講者：20名・聴講者36名）

「ナチュラルホースマンシップを取り入れた持田裕之氏の引退競走馬のリトレーニング講習会」

① 会 場：岡山乗馬倶楽部（岡山県吉備中央町）

日 程：8月7日～8日

参 加 者：70名

- ② 会 場：ノーザンホースパーク（北海道苫小牧市）  
日 程：9月11日～12日  
参加申込者：57名（※平成30年北海道胆振東部地震発生のため中止）

・引退競走馬所有者奨励競技会の開催

- ① 会 場：御殿場市馬術・スポーツセンター（静岡県御殿場市）  
日 程：6月16日  
申 込 数：馬場馬術 21頭 障害馬術 28頭
- ② 会 場：福岡県馬術競技場（福岡県古賀市）  
日 程：7月1日  
申 込 数：障害馬術 25頭
- ③ 会 場：水口乗馬クラブ（滋賀県甲賀市）  
日 程：9月23日  
申 込 数：障害馬術 30頭
- ④ 会 場：ノーザンホースパーク（北海道苫小牧市）  
日 程：10月13日  
申 込 数：障害馬術 26頭
- ⑤ 会 場：中島トニアシュタール（茨城県東茨城郡）  
日 程：11月25日  
申 込 数：障害馬術 30頭

※5 大会合計 160頭

・事業推進委員会

（第1回：平成30年3月27日）第2回：9月18日、第3回：12月11日、  
平成31年度第1回：平成31年2月26日

・分科会等の開催

- ① 引退競走馬のリトレーニングの視察および分科会  
会 場：JRA 馬事公苑 宇都宮事業所（栃木県宇都宮市）  
日 程：5月23日
- ② 引退競走馬の養老余生に関する分科会  
日 程：7月18日

4) 多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業

JRAの助成を受け、すでに実施されている馬の多様な利活用等に関する取組みの安定的な運営・発展を支援し、又は将来的に馬関連事業の参考事例となるような取組みや馬産業の人材養成等に資するような取組みを支援する事業として行った。

本年度は支援対象事業検討委員会で対象となった18事業に対しての支援を行った。

・支援対象事業検討委員会

第1回：5月25日、第2回：7月12日、  
平成31年度第1回：平成31年1月18日、第2回：平成31年3月15日

## 8. 乗馬指導者養成関係事業

一般市民を安全に乗馬指導できる乗馬関係者を養成するため、下記の事業を行った。

### (1) 乗馬指導者養成講習会

#### ① 初級

初級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、乗馬に関する知識及び技術向上を目的として、ブリティッシュ部門 7 会場、ウエスタン部門 2 会場で講習会を開催した。

【別表 6】

#### ② 中級・上級

中級・上級乗馬指導者資格認定試験を受験する者を対象に、より高度な知識及び技術の向上を目的として、ブリティッシュ部門中級・上級を実施し、ウエスタン部門中級は初級と合同でそれぞれ東西 2 会場にて実施した。なお、ウエスタン上級に関しては申込者がいないため不実施とした。

【別表 6】

### (2) 乗馬指導者資格認定

#### ① 乗馬指導者資格認定試験

ブリティッシュ部門の初級認定試験及び中級・上級の学科試験を 10 月 23 日に全国 7 ヶ所において一斉に実施し、中級・上級の実技・面接試験は東西 2 ヶ所に分け、東日本地域は 11 月 13 日山梨県馬術競技場において、西日本地域は 11 月 20 日三木ホースランドパークにおいて開催した。

また、ウエスタン部門の初級・中級においても東西 2 ヶ所に分け 10 月 16 日東日本地域は、山梨県馬術競技場において、西日本地域はエルランチョグランデにおいて開催した。

【別表 6】

#### ② 乗馬指導者資格認定試験問題作成委員会

乗馬指導者の資格認定における試験問題の作成及び実施方法について、8 月 28 日に山梨県馬術競技場において（ブリティッシュ中級・上級指導者講習会開催時）委員会を開催した。

#### ③ 資格審査員研修会

乗馬指導者資格審査委員に対し、実技試験の審査眼の統一を図り、試験内容の検討のため、5 月 8 日に JRA 新橋分館 5F において実務研修を開催した。

#### ④ 合否判定会議

12 月 11 日に JRA 新橋分館 5F において乗馬指導者資格認定試験の合否判定会議を行い、審議終了後それぞれの資格認定試験改善のため検討会を開催した。

＜ブリティッシュ＞ 62 名合格（初級 56 名、中級 3 名、上級 3 名）

＜ウエスタン＞ 4 名合格（初級 4 名、中級 0 名）

【別表6】 平成30年度乗馬指導者養成講習会、資格認定試験

受講者数・・・ 167 名

受験者数・・・ 147 名

合格者数・・・ 66 名

(単位：名)

区分	地域	会場	養成講習会			資格認定試験					
			期間	申請者	受講者	申請者	受験者	合格者	不合格者	合格率	
初級	ブリテイッシュ	北海道	ノーザンホースパーク	6/25～6/27	10	10	9	9	6	3	66.7%
		東北	ルネサンス棚倉	7/9～7/11	15	13	12	12	6	6	50.0%
		関東	中島トニアシュタール	9/3～9/5	68	60	58	55	24	31	43.6%
		北陸・中部	御殿場市馬術スポーツセンター	8/20～8/22	19	17	12	11	3	8	27.3%
		関西	乗馬クラブクレインオリンピックパーク	7/9～7/11	21	19	19	19	11	8	57.9%
		中国・四国	岡山乗馬倶楽部	7/9～7/11	12	12	12	12	4	8	33.3%
		九州	福岡県馬術競技場	7/30～8/1	9	7	8	7	2	5	28.6%
	小 計				154	138	130	125	56	69	44.8%
	ウエスタン	東日本	ラングラーランチ	7/3～7/5	9	7	5	5	1	4	20.0%
		西日本	エルランチョグランデ	7/3～7/5	5	5	5	5	3	2	60.0%
小 計				14	12	10	10	4	6	40.0%	
初 級 合 計				168	150	140	135	60	75	44.4%	
中級	ブリテイッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	8/28～8/29	4	4	4	4	1	3	25.0%
		西日本	三木ホースランドパーク	9/4～9/5	4	4	4	3	2	1	66.7%
	小 計				8	8	8	7	3	4	42.9%
	ウエスタン	東日本	ラングラーランチ	7/3～7/5	1	1	1	0	0	0	-
		西日本	エルランチョグランデ	7/3～7/5	2	2	2	1	0	1	0.0%
	小 計				3	3	3	1	0	1	0.0%
中 級 合 計				11	11	11	8	3	5	37.5%	
上級	ブリテイッシュ	東日本	山梨県馬術競技場	8/28～8/29	4	4	2	2	1	1	50.0%
		西日本	三木ホースランドパーク	9/4～9/5	2	2	2	2	2	0	100.0%
	小 計				6	6	4	4	3	1	75.0%
	ウエスタン	東日本	-	-	0	0	0	0	0	0	-
		西日本	-	-	0	0	0	0	0	0	-
	小 計				0	0	0	0	0	0	-
上 級 合 計				6	6	4	4	3	1	75.0%	
合 計				185	167	155	147	66	81	44.9%	

注)

1. ウエスタン上級は、東西日本ともに申込者がいないため、開催せず。
2. 初級乗馬指導者資格認定試験は、ブリテイッシュ10月23日、ウエスタン（中級含む）10月16日に実施。
3. ブリテイッシュ中・上級乗馬指導者資格認定試験は、学科10月23日、実技・面接については東日本が11月13日、西日本は11月20日に実施。

(3) 乗馬指導者巡回指導

乗馬指導者資格取得者を対象に乗馬技術及び調教技術の向上を図るため、ブリティッシュ部門の巡回指導を2地区で開催した。 【別表7】

講師：戸本一真氏（JRA馬事公苑普及課）

2018年世界馬術選手権大会総合馬術競技団体4位 個人23位

【別表7】 平成30年度巡回指導

地区	会場	開催期間	受講者数
中国	岡山乗馬倶楽部	12月4日～6日	6名
北関東	中島トニアシュタール	12月18日～20日	12名
兵庫	三木ホースランドパーク	平成31年1月8日～10日	中止

※兵庫地区は講師都合により中止となった。

(4) 乗馬指導者競技会

① 全国乗馬指導者競技会

乗馬指導者の技術向上を図るため6月15日～16日の2日間、御殿場市馬術・スポーツセンターで、ブリティッシュ部門とウエスタン部門を同時に開催した。

② 各地域の乗馬指導者競技会

7地域において一般の競技と併せて開催した。

【別表8】

【別表8】 平成30年度各地域の乗馬指導者競技会

開催地域	開催月日	会場
北海道	10月13日～14日	ノーザンホースパーク
東北	9月22日～23日	仙北市馬術競技場
関東	9月5日～6日	中島トニアシュタール
北陸中部	10月26日～27日	御殿場市馬術・スポーツセンター
関西	11月23日～24日	水口乗馬クラブ
中国四国	平成31年2月16日～17日	エヒメ乗馬クラブ
九州	11月10日	豊後大野市三重総合グランド馬術場

(5) 乗馬指導者資格更新講習会

既に乗馬指導者資格を取得している者を対象に乗馬指導の知識のレベルアップを図るために、関東地域（東京都世田谷区）、九州地域（福岡県福岡市）の2地域において人馬の基礎訓練・安全対策・指導法等について講習会を開催した。

・関東地域（東京農業大学世田谷キャンパス）

実施日：平成31年2月12日 受講者 104名

・九州地域（エიმアテイン博多駅前）

実施日：平成31年1月22日 受講者 47名

〔特記事項〕 なし

平成 30 年度

# 会計決算報告書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会



# 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
<b>I 資産の部</b>				
<b>1. 流動資産</b>				
現金預金	335,062,754	153,199,232	181,863,522	
現金	89,681	114,769	△ 25,088	
普通預金	274,973,073	93,084,463	181,888,610	
定期預金	60,000,000	60,000,000	0	
未収金	0	8,920,891	△ 8,920,891	
仮払金	100,695,440	956,640	99,738,800	
概算払金	0	186,180	△ 186,180	
貯蔵品	4,519,933	6,217,755	△ 1,697,822	
<b>流動資産合計</b>	<b>440,278,127</b>	<b>169,480,698</b>	<b>270,797,429</b>	
<b>2. 固定資産</b>				
<b>(1)特定資産</b>				
退職給付引当資産	42,746,317	38,548,921	4,197,396	
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	16,000,000	0	
再貸付事業積立資産	40,265,660	39,645,545	620,115	
<b>特定資産合計</b>	<b>99,011,977</b>	<b>94,194,466</b>	<b>4,817,511</b>	
<b>(2)その他固定資産</b>				
備品	1,759,170	1,977,427	△ 218,257	
ソフトウェア	584,823	764,103	△ 179,280	
電話加入権	372,008	372,008	0	
<b>その他固定資産合計</b>	<b>2,716,001</b>	<b>3,113,538</b>	<b>△ 397,537</b>	
<b>固定資産合計</b>	<b>101,727,978</b>	<b>97,308,004</b>	<b>4,419,974</b>	
<b>資産合計</b>	<b>542,006,105</b>	<b>266,788,702</b>	<b>275,217,403</b>	
<b>II 負債の部</b>				
<b>1. 流動負債</b>				
未払金	6,690,944	19,715,958	△ 13,025,014	
仮受金	282,785,815	13,580,880	269,204,935	
預り金	1,386,402	1,954,327	△ 567,925	
賞与引当金	4,129,581	4,285,770	△ 156,189	
<b>流動負債合計</b>	<b>294,992,742</b>	<b>39,536,935</b>	<b>255,455,807</b>	
<b>2. 固定負債</b>				
退職給付引当金	42,746,317	38,548,921	4,197,396	
<b>固定負債合計</b>	<b>42,746,317</b>	<b>38,548,921</b>	<b>4,197,396</b>	
<b>負債合計</b>	<b>337,739,059</b>	<b>78,085,856</b>	<b>259,653,203</b>	
<b>III 正味財産の部</b>				
<b>1. 指定正味財産</b>				
<b>指定正味財産合計</b>	0	0	0	
(うち基本資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)	
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>204,267,046</b>	<b>188,702,846</b>	<b>15,564,200</b>	
(うち基本資産への充当額)	0	( 0)	( 0)	
(うち特定資産への充当額)	( 56,265,660)	( 55,645,545)	( 620,115)	
<b>正味財産合計</b>	<b>204,267,046</b>	<b>188,702,846</b>	<b>15,564,200</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>542,006,105</b>	<b>266,788,702</b>	<b>275,217,403</b>	

## 貸借対照表内訳表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引 消去	合計	備考
<b>I 資産の部</b>						
<b>1. 流動資産</b>						
現金預金	184,091,826	123,548,936	27,421,992		335,062,754	
現金	0	0	89,681		89,681	
普通預金	184,091,826	63,548,936	27,332,311		274,973,073	
定期預金	0	60,000,000	0		60,000,000	
仮払金	100,679,240	0	16,200		100,695,440	
貯蔵品	4,519,933	0	0		4,519,933	
<b>流動資産合計</b>	<b>289,290,999</b>	<b>123,548,936</b>	<b>27,438,192</b>	<b>0</b>	<b>440,278,127</b>	
<b>2. 固定資産</b>						
<b>(1)特定資産</b>						
退職給付引当資産	35,051,980	3,419,705	4,274,632		42,746,317	
乗馬振興事業特別積立資産	0	0	16,000,000		16,000,000	
再貸付事業積立資産	0	40,265,660	0		40,265,660	
<b>特定資産合計</b>	<b>35,051,980</b>	<b>43,685,365</b>	<b>20,274,632</b>	<b>0</b>	<b>99,011,977</b>	
<b>(2)その他固定資産</b>						
備品	1,445,544	139,389	174,237		1,759,170	
ソフトウエア	524,915	26,626	33,282		584,823	
電話加入権	271,566	40,921	59,521		372,008	
<b>その他固定資産合計</b>	<b>2,242,025</b>	<b>206,936</b>	<b>267,040</b>	<b>0</b>	<b>2,716,001</b>	
<b>固定資産合計</b>	<b>37,294,005</b>	<b>43,892,301</b>	<b>20,541,672</b>	<b>0</b>	<b>101,727,978</b>	
<b>資産合計</b>	<b>326,585,004</b>	<b>167,441,237</b>	<b>47,979,864</b>	<b>0</b>	<b>542,006,105</b>	
<b>II 負債の部</b>						
<b>1. 流動負債</b>						
未払金	2,466,370	8,640	4,215,934		6,690,944	
仮受金	273,816,550	7,449,753	1,519,512		282,785,815	
預り金	0	1,017,045	369,357		1,386,402	
賞与引当金	3,386,256	330,367	412,958		4,129,581	
<b>流動負債合計</b>	<b>279,669,176</b>	<b>8,805,805</b>	<b>6,517,761</b>	<b>0</b>	<b>294,992,742</b>	
<b>2. 固定負債</b>						
退職給付引当金	35,051,980	3,419,705	4,274,632		42,746,317	
<b>固定負債合計</b>	<b>35,051,980</b>	<b>3,419,705</b>	<b>4,274,632</b>	<b>0</b>	<b>42,746,317</b>	
<b>負債合計</b>	<b>314,721,156</b>	<b>12,225,510</b>	<b>10,792,393</b>	<b>0</b>	<b>337,739,059</b>	
<b>III 正味財産の部</b>						
<b>1. 指定正味財産</b>						
<b>指定正味財産合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )		( 0 )	
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )		( 0 )	
<b>2. 一般正味財産</b>						
<b>一般正味財産合計</b>	<b>11,863,848</b>	<b>155,215,727</b>	<b>37,187,471</b>	<b>0</b>	<b>204,267,046</b>	
(うち基本資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )		( 0 )	
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 40,265,660 )	( 16,000,000 )		( 56,265,660 )	
<b>正味財産合計</b>	<b>11,863,848</b>	<b>155,215,727</b>	<b>37,187,471</b>	<b>0</b>	<b>204,267,046</b>	
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>326,585,004</b>	<b>167,441,237</b>	<b>47,979,864</b>	<b>0</b>	<b>542,006,105</b>	

注) 乗馬施設活性化支援事業において(公財)畜産近代化リース協会より借受け、登録乗馬施設に貸付けを行っている再貸付物件が197,812,256円ある。

# 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
特定資産運用益	8,033	8,111	△ 78	
特定預金受取利息収益	8,033	8,111	△ 78	
受取入会金及び会費	3,090,000	3,060,000	30,000	
受取入会金及び会費	3,090,000	3,060,000	30,000	
事業収益	99,089,126	101,261,986	△ 2,172,860	
登録料収益	44,220,240	44,908,320	△ 688,080	
指導者資格認定試験料収益	2,649,200	2,930,000	△ 280,800	
乗馬技能認定料収益	43,872,840	46,283,400	△ 2,410,560	
再貸付事務手数料収益	1,240,230	748,826	491,404	
資格認定テキスト収益	7,106,616	6,391,440	715,176	
受取補助金等	254,635,493	191,677,406	62,958,087	
乗馬普及事業助成金	251,485,493	188,684,730	62,800,763	
内国産馬生産奨励事業助成金	3,150,000	2,992,676	157,324	
雑収益	7,691	7,623	68	
受取利息収益	7,691	7,623	68	
<b>経常収益計</b>	<b>356,830,343</b>	<b>296,015,126</b>	<b>60,815,217</b>	
<b>(2) 経常費用</b>				
事業費	331,494,810	276,051,338	55,443,472	
役員報酬	6,628,968	6,524,000	104,968	
給与手当	49,363,931	51,799,864	△ 2,435,933	
社会保険料	8,834,384	9,037,552	△ 203,168	
福利厚生費	819,187	519,250	299,937	
馬とのふれあい補助費	30,269,600	29,865,480	404,120	
乗用馬保健衛生補助費	28,237,745	33,174,259	△ 4,936,514	
乗馬施設整備補助費	88,449,024	28,531,600	59,917,424	
競技会奨励費及び賞品費	8,378,645	3,456,704	4,921,941	
会議及び講習会費	20,643,805	23,484,028	△ 2,840,223	
旅費交通費	46,597,078	48,359,561	△ 1,762,483	
従事員賃金	3,997,918	3,664,188	333,730	
広報費	10,583,730	9,558,378	1,025,352	
備品及び借料費	7,331,730	6,016,821	1,314,909	
減価償却費	344,265	383,994	△ 39,729	
消耗品費	561,955	408,947	153,008	
図書印刷製本費	6,369,221	5,945,228	423,993	
通信費	2,519,850	2,676,926	△ 157,076	
光熱及び水料	373,898	389,624	△ 15,726	
役務費	2,906,933	3,564,615	△ 657,682	
租税公課	2,634,560	2,087,200	547,360	
雑費	1,968,439	1,712,079	256,360	
退職給付費用	3,777,656	4,122,931	△ 345,275	
賞与引当金繰入	△ 97,712	768,109	△ 865,821	
管理費	9,771,333	11,196,560	△ 1,425,227	
役員報酬	736,552	806,000	△ 69,448	
給与手当	5,484,992	6,402,230	△ 917,238	
社会保険料	981,376	1,117,001	△ 135,625	
福利厚生費	91,022	64,177	26,845	
会議及び講習会費	34,176	36,012	△ 1,836	
旅費交通費	389,872	445,566	△ 55,694	
従事員賃金	94,402	87,829	6,573	

科 目	当年度	前年度	増 減	備考
備品及び借料費	753,244	731,391	21,853	
減価償却費	53,272	26,561	26,711	
消耗品費	58,547	42,985	15,562	
図書印刷製本費	45,381	35,861	9,520	
通信費	244,240	286,996	△ 42,756	
光熱及び水料	41,545	48,156	△ 6,611	
役務費	314,974	379,187	△ 64,213	
租税公課	3,040	0	3,040	
雑費	83,435	82,097	1,338	
退職給付費用	419,740	509,576	△ 89,836	
賞与引当金繰入	△ 58,477	94,935	△ 153,412	
<b>経常費用計</b>	<b>341,266,143</b>	<b>287,247,898</b>	<b>54,018,245</b>	
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>15,564,200</b>	<b>8,767,228</b>	<b>6,796,972</b>	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>15,564,200</b>	<b>8,767,228</b>	<b>6,796,972</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
雑費（経常外）	0	1,442,484	△ 1,442,484	
雑費（経常外）	0	1,442,484	△ 1,442,484	
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>1,442,484</b>	<b>△ 1,442,484</b>	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>△ 1,442,484</b>	<b>1,442,484</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>15,564,200</b>	<b>7,324,744</b>	<b>8,239,456</b>	
一般正味財産期首残高	188,702,846	181,378,102	7,324,744	
一般正味財産期末残高	204,267,046	188,702,846	15,564,200	
<b>Ⅱ 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
<b>Ⅲ 正味財産期末残高</b>	<b>204,267,046</b>	<b>188,702,846</b>	<b>15,564,200</b>	

# 正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計	備考	
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性化 支援事業	共通						小計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>											
<b>1. 経常増減の部</b>											
<b>(1) 経常収益</b>											
特定資産運用益	2,869	2,869	175	3,039	0	3,214	1,950	8,033			
特定預金受取利息収益	2,869	2,869	175	3,039	0	3,214	1,950	8,033			
受取入会金及び会費	1,545,000	1,545,000	0	0	0	0	1,545,000	3,090,000			
受取入会金及び会費	1,545,000	1,545,000	0	0	0	0	1,545,000	3,090,000			
事業収益	53,628,656	53,628,656	44,220,240	1,240,230	0	45,460,470	0	99,089,126			
登録料収益	0	0	44,220,240	0	0	44,220,240	0	44,220,240			
指導者資格認定試験料収益	2,649,200	2,649,200	0	0	0	0	0	2,649,200			
乗馬技能認定料収益	43,872,840	43,872,840	0	0	0	0	0	43,872,840			
再貸付事務手数料収益	0	0	0	1,240,230	0	1,240,230	0	1,240,230			
資格認定テキスト収益	7,106,616	7,106,616	0	0	0	0	0	7,106,616			
受取補助金等	244,118,183	244,118,183	2,921,364	1,753,218	0	4,674,582	5,842,728	254,635,493			
乗馬普及事業助成金	240,968,183	240,968,183	2,921,364	1,753,218	0	4,674,582	5,842,728	251,485,493			
内国産馬生産奨励事業助成金	3,150,000	3,150,000	0	0	0	0	0	3,150,000			
雑収益	6,160	6,160	376	404	0	780	751	7,691			
受取利息収益	6,160	6,160	376	404	0	780	751	7,691			
<b>経常収益計</b>	<b>299,300,868</b>	<b>299,300,868</b>	<b>47,142,155</b>	<b>2,996,891</b>	<b>0</b>	<b>50,139,046</b>	<b>7,990,429</b>	<b>356,830,343</b>			
<b>(2) 経常費用</b>											
事業費	322,240,209	322,240,209	6,260,950	2,993,651	0	9,254,601	—	331,494,810			
役員報酬	6,040,126	6,040,126	367,776	221,066	0	588,842	—	6,628,968			
給与手当	44,976,137	44,976,137	2,742,496	1,645,298	0	4,387,794	—	49,363,931			
社会保険料	8,048,483	8,048,483	491,188	294,713	0	785,901	—	8,834,384			
福利厚生費	746,371	746,371	45,510	27,306	0	72,816	—	819,187			
馬とのふれあい補助費	30,269,600	30,269,600	0	0	0	0	—	30,269,600			
乗用馬保健衛生補助費	28,237,745	28,237,745	0	0	0	0	—	28,237,745			
乗馬施設整備補助費	88,449,024	88,449,024	0	0	0	0	—	88,449,024			
競技会奨励費及び賞品費	8,378,645	8,378,645	0	0	0	0	—	8,378,645			
会議及び講習会費	20,616,464	20,616,464	17,088	10,253	0	27,341	—	20,643,805			
旅費交通費	46,123,301	46,123,301	356,816	116,961	0	473,777	—	46,597,078			
従事員賃金	3,357,476	3,357,476	612,121	28,321	0	640,442	—	3,997,918			
広報費	10,583,730	10,583,730	0	0	0	0	—	10,583,730			
備品及び借料費	6,729,135	6,729,135	376,622	225,973	0	602,595	—	7,331,730			
減価償却費	296,905	296,905	26,636	20,724	0	47,360	—	344,265			
消耗品費	515,118	515,118	29,273	17,564	0	46,837	—	561,955			
図書印刷製本費	5,741,939	5,741,939	613,667	13,615	0	627,282	—	6,369,221			
通信費	2,266,949	2,266,949	179,629	73,272	0	252,901	—	2,519,850			
光熱及び水料	340,663	340,663	20,772	12,463	0	33,235	—	373,898			
役員費	2,654,954	2,654,954	157,487	94,492	0	251,979	—	2,906,933			
租税公課	2,632,128	2,632,128	1,520	912	0	2,432	—	2,634,560			
雑費	1,835,812	1,835,812	41,717	90,910	0	132,627	—	1,968,439			

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合計	備考
	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性化 支援事業	共通					
					乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性化 支援事業	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性化 支援事業		
退職給付費用	3,441,864	3,441,864	209,870	125,922	0	335,792	—	3,777,656		
賞与引当金繰入 管理費	△ 42,360	△ 42,360	△ 29,238	△ 26,114	0	△ 55,352	—	△ 97,712		
役員報酬	—	—	—	—	—	—	9,771,333	9,771,333		
給与手当	—	—	—	—	—	—	736,552	736,552		
社会保険料	—	—	—	—	—	—	5,484,992	5,484,992		
福利厚生費	—	—	—	—	—	—	981,376	981,376		
会議及び講習会費	—	—	—	—	—	—	91,022	91,022		
旅費交通費	—	—	—	—	—	—	34,176	34,176		
従事員賃金	—	—	—	—	—	—	389,872	389,872		
備品及び借料費	—	—	—	—	—	—	94,402	94,402		
減価償却費	—	—	—	—	—	—	753,244	753,244		
消耗品費	—	—	—	—	—	—	53,272	53,272		
図書印刷製本費	—	—	—	—	—	—	58,547	58,547		
通信費	—	—	—	—	—	—	45,381	45,381		
光熱及び水料	—	—	—	—	—	—	244,240	244,240		
役務費	—	—	—	—	—	—	41,545	41,545		
租税公課	—	—	—	—	—	—	314,974	314,974		
雑費	—	—	—	—	—	—	3,040	3,040		
退職給付費用	—	—	—	—	—	—	83,435	83,435		
賞与引当金繰入	—	—	—	—	—	—	419,740	419,740		
賞与引当金繰入	—	—	—	—	—	—	△ 58,477	△ 58,477		
<b>経費用計</b>	<b>322,240,209</b>	<b>322,240,209</b>	<b>6,260,950</b>	<b>2,993,651</b>	<b>0</b>	<b>9,254,601</b>	<b>9,771,333</b>	<b>341,266,143</b>		
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>△ 22,939,341</b>	<b>△ 22,939,341</b>	<b>40,881,205</b>	<b>3,240</b>	<b>0</b>	<b>40,884,445</b>	<b>△ 2,380,904</b>	<b>15,564,200</b>		
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0		
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0	0		
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 22,939,341</b>	<b>△ 22,939,341</b>	<b>40,881,205</b>	<b>3,240</b>	<b>0</b>	<b>40,884,445</b>	<b>△ 2,380,904</b>	<b>15,564,200</b>		
<b>2. 経常外増減の部</b>										
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0		
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0		
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0		
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0		
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		
<b>他会計振替前当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 22,939,341</b>	<b>△ 22,939,341</b>	<b>40,881,205</b>	<b>3,240</b>	<b>0</b>	<b>40,884,445</b>	<b>△ 2,380,904</b>	<b>15,564,200</b>		
<b>他会計振替額</b>	<b>21,000,000</b>	<b>21,000,000</b>	<b>△ 21,800,000</b>	<b>179,885</b>	<b>0</b>	<b>△ 21,620,115</b>	<b>620,115</b>	<b>0</b>		
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 1,939,341</b>	<b>△ 1,939,341</b>	<b>19,081,205</b>	<b>183,125</b>	<b>0</b>	<b>19,264,330</b>	<b>△ 1,760,789</b>	<b>15,564,200</b>		
一般正味財産期首残高	13,803,189	13,803,189	93,919,069	42,032,328	0	135,951,397	38,948,260	188,702,846		
一般正味財産期末残高	11,863,848	11,863,848	113,000,274	42,215,453	0	155,215,727	37,187,471	204,267,046		
Ⅱ 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0		
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0		
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0		
Ⅲ 正味財産期末残高	11,863,848	11,863,848	113,000,274	42,215,453	0	155,215,727	37,187,471	204,267,046		

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

定額法を採用し、直接法により表示している。

#### (3) 引当金の計上基準

退職給付引当金は役職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。なお退職給付債務は期末要支給額に基づいて計算している。

賞与引当金は職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

#### (4) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 3. 会計方針の変更

なし。

### 4. 特定資産の増減額及びその残額

特定資産の増減額及びその残額は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当資産	38,548,921	4,197,396	0	42,746,317
乗馬振興事業特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
再貸付事業積立資産	39,645,545	620,115	0	40,265,660
合 計	94,194,466	4,817,511	0	99,011,977

### 5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
退職給付引当預金	42,746,317	0	0	42,746,317
乗馬振興事業特別積立預金	16,000,000	0	16,000,000	0
再貸付事業積立預金	40,265,660	0	40,265,660	0
合 計	99,011,977	0	56,265,660	42,746,317

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
備品	4,720,576	2,961,406	1,759,170
ソフトウェア	2,739,150	2,154,327	584,823
電話加入権	372,008	0	372,008
合計	7,831,734	5,115,733	2,716,001

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
日本中央競馬会助成金	日本中央競馬会	0	94,941,488	94,941,488	0	
競馬振興特別助成金【3項①、②、③】 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業	日本中央競馬会	0	43,425,115	43,425,115	0	
競馬振興特別助成金【3項④】 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業	日本中央競馬会	0	48,000,000	24,000,000	24,000,000	流動負債の部の仮受金
競馬振興特別助成金【3項⑤】 多様な馬の利活用等の取組みを支援し、発展させるための事業	日本中央競馬会	0	229,454,081	60,253,414	169,200,667	流動負債の部の仮受金
競馬振興特別助成金【3項①】 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業	日本中央競馬会	0	22,000,000	68,962	21,931,038	流動負債の部の仮受金
競馬振興特別助成金【3項②】 障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業	日本中央競馬会	0	22,000,000	119,405	21,880,595	流動負債の部の仮受金
競馬振興特別助成金【3項③】 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業	日本中央競馬会	0	35,000,000	439,364	34,560,636	流動負債の部の仮受金



補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
畜産振興事業助成金【4項】 乗用馬防疫推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	28,237,745	28,237,745	0	
畜産振興事業助成金【4項】 馬の流通に係る調教技術向上推進事業	全国競馬・畜産振興会	0	3,150,000	3,150,000	0	

○ 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

① 退職給付債務	42,746,317
② 会計基準変更時差異の未処理額	0
③ 退職給付引当金 (①+②)	42,746,317

(3) 退職給付費用に関する事項

① 勤務費用	4,197,396
② 会計基準変更時差異の費用処理額	0
③ 退職給付費用 (①+②)	4,197,396

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末要支給額を基礎として計算している。

## 付 属 明 細 書

### 1. 特定資産の明細

区分	科 目	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿残高
特定資産	退職給付引当資産	38,548,921	4,197,396	0	42,746,317
	乗馬振興事業 特別積立資産	16,000,000	0	0	16,000,000
	再貸付事業積立資産	39,645,545	620,115	0	40,265,660
	合 計	94,194,466	4,817,511	0	99,011,977

### 2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,285,770	4,129,581	4,285,770	0	4,129,581
退職給付引当金	38,548,921	4,197,396	0	0	42,746,317

(注) 計上の理由及び算定方法については、財務諸表に対する注記に記載している。

# 財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額		
<b>(流動資産)</b>					
<b>現金 預金</b>	手元保管	運転資金として	<b>89,681</b>		
	普通預金		<b>274,973,073</b>		
	三菱UFJ銀行 本店 (5口座)	運転資金として	227,382,312		
	三井住友銀行 経堂支店 (4口座)	"	44,251,783		
	三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店 (2口座)	"	3,338,978		
	定期預金		<b>60,000,000</b>		
	三井住友銀行 経堂支店	運転資金として	60,000,000		
	<b>仮払金</b>	次年度執行分 15団体	乗馬普及事業の事業費	99,900,000	
		次年度事業にかかる傷害保険料等	"	779,240	
		備品のレンタル料	法人会計管理費	16,200	
			<b>4,519,933</b>		
<b>貯蔵品</b>	「レッツエンジョイライディング」等のテキスト類 9,880冊	乗馬普及事業のテキストの在庫	3,394,041		
	ポニーライダー技能認定の認定バッジ 1,418個	乗馬普及事業の認定バッジの在庫	1,125,892		
			<b>440,278,127</b>		
<b>流動資産合計</b>			<b>440,278,127</b>		
<b>(固定資産)</b>					
<b>特定資産</b>					
<b>退職給付引当資産</b>	普通預金 三井住友銀行 経堂支店	役員に対する退職金の支払に備えた預金	8,256,453		
	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	34,489,864		
			<b>16,000,000</b>		
	<b>乗馬振興事業特別 積立資産 再貸付事業積立 資産</b>	定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬普及及び振興の事業のために使用する預金	16,000,000	
		普通預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	乗馬施設活性化事業の借り入れ物件に対する保障の積立預金	12,038,409	
		定期預金 三菱UFJ銀行 自由が丘駅前支店	"	28,227,251	
	<b>その他 固定資産</b>	<b>備品</b>	事務所パソコン及び什器類 11件	公益目的保有財産の備品は1,445,544円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益事業等会計として139,389円、法人会計として174,237円の備品を使用している。	
			乗馬指導者管理システム及び会計ソフト等 5件	公益目的保有財産として524,915円のソフトウェアを使用している。その他、収益事業等会計として26,626円、法人会計として33,282円のソフトウェアを使用している。	
		<b>ソフトウェア</b>	5回線分	公益目的保有財産の電話加入権は271,566円であり、乗馬普及事業に使用している。その他、収益事業等会計として40,921円、法人会計として59,521円の電話加入権を使用している。	<b>1,759,170</b>
					<b>584,823</b>
<b>電話加入権</b>			<b>372,008</b>		
			<b>101,727,978</b>		
<b>固定資産合計</b>			<b>101,727,978</b>		
<b>資産合計</b>			<b>542,006,105</b>		
<b>(流動負債)</b>					
<b>未払金</b>	印刷物・ホームページ更新料等 8件	乗馬普及事業の事業経費	902,670		
	消費税	消費税納税分	1,563,700		
	証明書発行手数料等 2件	乗馬施設活性化事業の事業経費	8,640		
	通信費等の事務管理費 19件	法人会計管理費等の3月の経費支払分	1,577,439		
	社会保険料	役員に対する2、3月の社会保険料	2,288,264		
	給与手当等	職員に対する3月分残業代	350,231		
			<b>282,785,815</b>		
	<b>仮受金</b>	指導者登録料 598人	乗馬施設等登録事業の次年度登録料	7,176,000	
		再貸付事業の貸付料、事務手数料等	乗馬施設活性化事業の次年度分	273,753	
		賛助会員の会費等 2件	次年度会費	200,000	
誤入金		返金予定分	8,640		
日本中央競馬会からの助成金 5事業分		乗馬普及事業の次年度分	271,572,936		
"		助成金未使用分の返還分	1,319,512		
<b>預り金</b>	公益財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成金	"	2,234,465		
	預金利息	助成金に対する利息分	509		
	所得税	役員及び委員等に対する3月分所得税	173,757		
	住民税	役員に対する3月分住民税	195,600		
<b>賞与引当金</b>	乗馬施設再貸付事業に伴う手数料及び貸付金	乗馬施設活性化事業の事業経費及び手形差額分の現金預かり分	1,017,045		
	職員に対する12～3月分の賞与分	職員に対する12～3月分の賞与分	<b>4,129,581</b>		
<b>流動負債合計</b>			<b>294,992,742</b>		
<b>(固定負債)</b>					
<b>退職給付引当金</b>					
	役員に対するもの	役員に対する退職金の支払に備えたもの	<b>42,746,317</b>		
<b>固定負債合計</b>			<b>42,746,317</b>		
<b>負債合計</b>			<b>337,739,059</b>		
<b>正味財産</b>			<b>204,267,046</b>		

# 監 査 報 告

令和元年5月13日

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

会 長 細 野 利 昭 殿

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

監 事 神 谷 孝 之

監 事 杉 本 修

私たち監事は、定款第23条の規定に基づき、平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその付属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。